



CODE
for JAPAN

活動紹介

一般社団法人コード・フォー・ジャパン

理事 白川 展之

shirakawa@code4japan.org

VLED 第4回利活用・普及委員会

日時:3月11日(金)13:30~15:30

場所:三菱総合研究所4階 大会議室



CODE
for JAPAN

ミッション：「オープンな文化を通じて従来の仕組みをハックすることによって、住みやすい社会を作る」**シビックテックのコミュニティ**



一般社団法人コード・フォー・ジャパン法人概要

- **目的**：技術者と市民の協働により、社会の具体的な課題解決を実現する**情報技術・プログラムをコーディングにより開発・実装**することで、公共サービスを市民参加型のプロセスを通じて改善し、**より良い政府・自治体の実現**を通じて社会に貢献すること

- **法人設立日**：平成25年10月25日

- **役員**

- 代表理事 関 治之（（合）Georepublic Japan代表社員、株式会社HackCamp代表）
（2009年情報処理推進機構（IPA）未踏人材発掘育成プロジェクト採択）
- 副理事長 高木 祐介（株式会社自動処理代表取締役）
- 理事 白川 展之（某国立研究開発法人、慶應義塾大学SFC研究所他）
- 監事 牧 葉子（前川崎市環境総合研究所長）

- **関連団体**

- **国際ネットワーク**：OFFICIAL PARTNERS: *Code for All*

- *Code for America*, *Code for Germany*, *Code for Poland*, *Code for the Caribbean*, *Code for the Netherlands*, *Code for Mexico City*, *Code for Pakistan*, *Code for Australia*, *Code for South Africa*, *Code for Japan*

- **国内**：公認ブリゲード38地域、平成28年2月現在（別紙参照）

- **受けた助成等**（100万円以上）

- Yahoo基金（平成26年度：2013）
- Google-Impact-Challenge（2015）主提案者（非特）マドレボニータと共同提案

- **その他**

- SUSANOO（IT企業家の孫泰三氏プロデュースによる（非特）ETICのソーシャルスタートアップ支援プログラム）第一期（2014）、社会イノベーター公志園（2015）他

定款に定める事項

- ① プログラミング・コーディングによって社会的課題の解決を図る**シビックテクノロジーに関する技術開発・普及事業**
- ② 米国非営利法人**Code for America**他事業目的を共有する国内外の企業・団体及び自治体等との交流・連携事業
- ③ 市民及び技術者の協働により**地域における社会的課題の解決を図る自発的な活動・取組に対する補助・技術支援事業**
- ④ 地域における高度技術人材育成及びソフトウェア関連産業の振興に資する技術者育成・スキル標準化のための教育・**研修**
- ⑤ 情報技術を起点に社会的課題の解決を図るイノベーションに関する国内事例の情報発信及び海外の最新動向に関する**調査研究**
- ⑥ その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

実施事業

フェローシップ事業

- 長期：福島県浪江町「浪江町タブレットを利用したきずな再生・強化事業」（復興庁）26年度、27年度（選抜技術者を復興庁非常勤職員として採用し、役場に常駐）
- 短期：コーポレートフェローシップ（企業・NPOのIT人材の自治体への短期研修派遣）26年度：SAP-Japan協力で鯖江市で試行、27年度本格実施（鯖江市、神戸市、横浜市）

ブリゲード事業

- 日本国内のCode-for-X（Xは地域名）との連携を実施
- その他：イベント等コード・フォー・ジャパンサミット実施（2014年：500人、2015）

受けたイベント助成資金： Google Yahoo Japan Github 日本IBM 朝日新聞 他

自己紹介：CFJ創業の意図

• 地方公務員（予算、地域科学技術）

- H10-20.8 広島県：文部科学省出向等科学技術関連、県立大学法人化等

• 国家公務員（科学技術・政策研究）

- H20.9－25.8 文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術予測 等

• 慶應義塾大学大学院政策メディア研究科

- H25.9- 26.3 特任講師

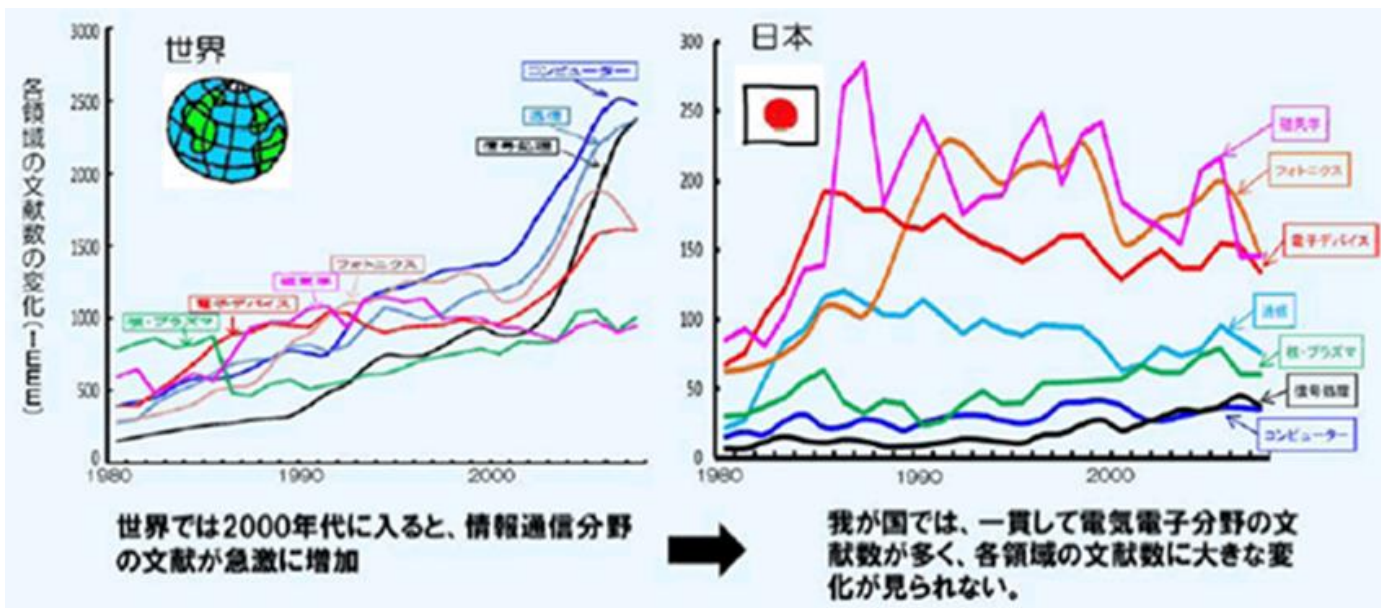
• 現在：自身を非公務員化してイノベーションの推進に

- H25.10～ Code-for-Japan法人化：理事

調査研究結果 情報技術と震災

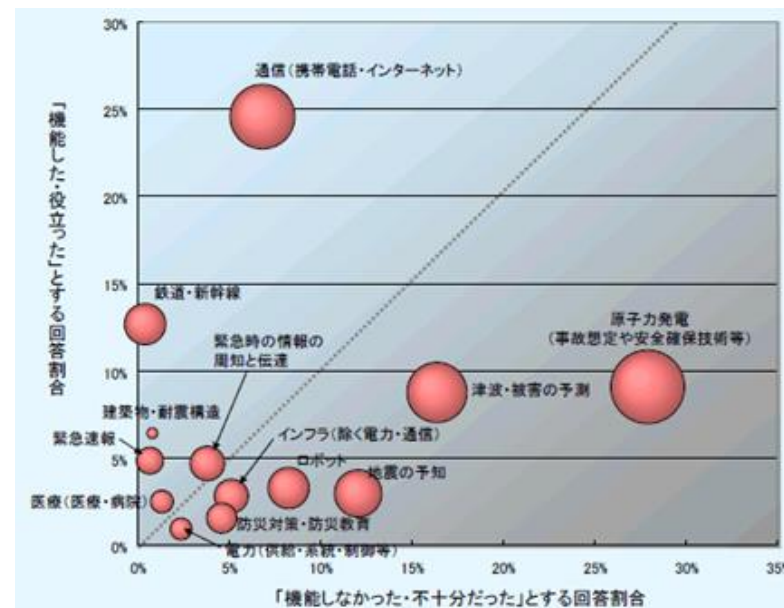
技術に優れ商売で負けるといわれている日本の研究開発の対応に遅れ

- 世界では社会や産業構造の変化に対応した研究開発が行われているのに対して、我が国の研究開発は、変化に対応できていない。



東日本大震災に際して機能した又は機能しなかった技術と対策

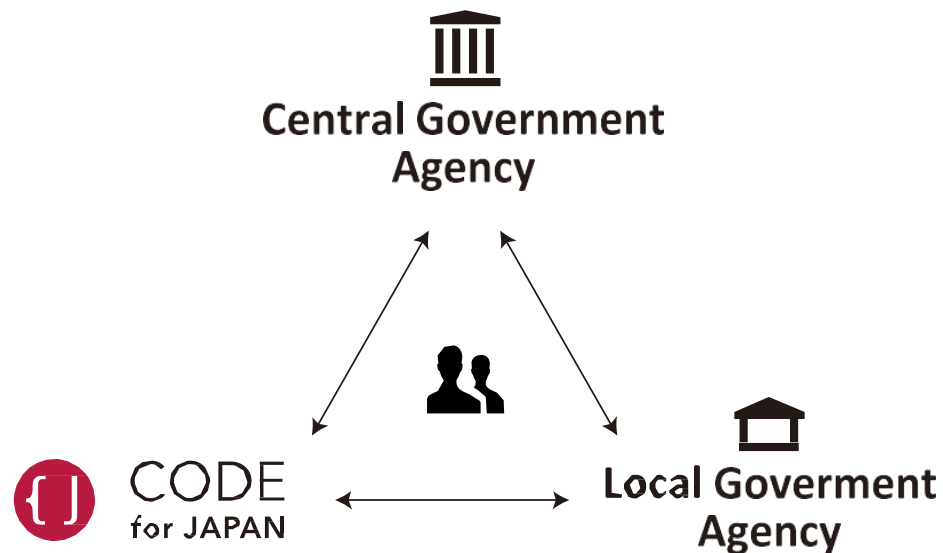
- 通信（携帯電話・インターネット）、鉄道・新幹線や建物の基準は高評価



CFJの活動・事業紹介：「CFJとは何か？」 ICT技術を通じた地域課題解決＝IT消防団

- 日本の環境に合わせたシビックテックの普及による地域課題解決を志向。上下関係はない。水平的調整。

フェロシップ事業（直営）
（自治体へのICT人材派遣）



ブリゲード（支援）
（全国のコミュニティとのネットワーキング）

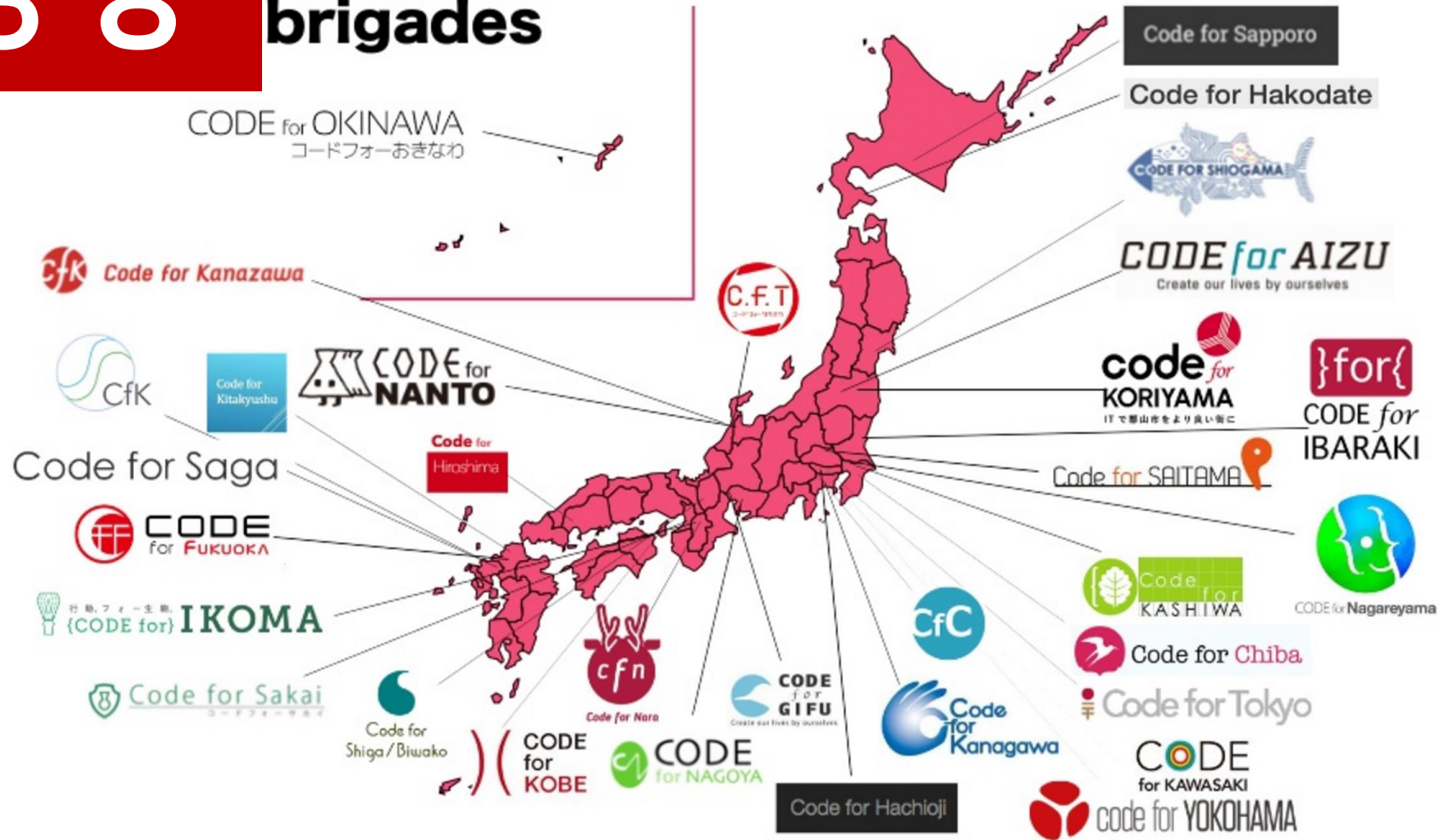


ブリゲード（消防団）

（ICTを用いた地域課題解決のための活動・コミュニティ支援）

38

brigades



CFJの場合のフェローシップ事業 (自治体へのICT人材の派遣) ⇨ 日本対応

長期

- フェローシップ (IT人材の自治体内派遣)
- 浪江町における震災復興事業 (特命随意契約) H26—27年度
- 福島県浪江町「浪江町タブレットを利用したきずな再生・強化事業」 (復興庁)
- フェローは、復興庁の非常勤の国家公務員として、常勤的に浪江町役場に。

短期

- コーポレート・フェローシップ
- (企業人材の自治体への短期派遣・研修) 非常勤
- H26下半期試行 (鯖江市)、H27本格実施 (神戸市、横浜市等)



浪江町

福島第一原発



全町民避難



フェローを派遣

タブレット配布を通じてきずなの再生と億単位で費用削減のオープン化を達成



“UKEDON”



社会インパクト：ワークショップ（アイデアソン） 説明会等のプロ プロセスを通じて、高齢者のITリテラシーが劇的に向上



鯖江市



X



業務目標 子育てしやすい鯖江
市を作る ためのオープンデー
タ活用



神戸市



X



- 業務目標 1. スタートアップを育成
する エコシステム作りの支援
2. オープンガバメントに向けた 行
政オープンデータの推進支援



横浜市



X



業務目標

「オープンイノベーション」のための プラ
ットフォーム形成の支援



今回受賞の取り組み
「自治体庁舎を文字どおりハック」
Code for Japan Summit

イベント（1000人以上参加！）

NOV
06

Code for Japan Summit 2015



日本のシビックテクノロジーの普及に貢献

知識創造の革新：グラフィックレコーディングをカンファレンスのラップアップと記録に全面的に導入：日本初！

会議での議論やカンファレンスの流れを視覚化し、参加者へ共有する手法。





CODE
for JAPAN



ありがとうございました

<http://code4japan.org/>

<https://www.facebook.com/codeforjapan/?ref=hl>